令和５年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　山王平成会

目次

法　人　本　部 …… 1

ごしょの保育園 …… 5

かわしり保育園 …… 12

阿久和保育園 …… 19

西 柴 保 育 園 …… 26

上永谷西保育園 …… 31

阿久和キッズ …… 37

令和 6 年 6 月 5 日

令和 5 年度
法人本部 事業報告

1. 評議員

評議員は次のとおり（敬称略）

安部　珠央、石川　素子、柴田　幸春、牧島　綾子、松田　拓郎、松橋　洋子
丸山　美路、米村　徹

2. 理事・監事

理事・監事は次のとおり（敬称略）

・理事長　　長谷川　貴勇
・副理事長　加賀屋　寛子
・理事　　中川　實、有田　正司、冨樫　冨士子、松田　悦朗
・監事　　田口　昭一、髙橋　真一

3. 評議員会の開催

・第 1 回　令和 5 年 6 月 24 日(土)
　第 1 号議案　理事・監事選任の件
　第 2 号議案　令和 4 年度計算書類等並びに財産目録承認の件
　第 3 号議案　令和 5 年度事業計画承認の件

4. 理事会の開催

・第 1 回　令和 5 年 6 月 1 日(木)
　第 1 号議案　理事・監事再任（選任）の件
　第 2 号議案　令和 4 年度事業報告の件
　第 3 号議案　令和 4 年度計算書類等並びに財産目録の件
　第 4 号議案　令和 5 年度評議員会開催の件

・第 2 回　令和 5 年 6 月 28 日(水)
　第 1 号議案　理事長および業務執行理事選任の件

・第 3 回　令和 6 年 2 月 15 日(木)
　第 1 号議案　かわしり保育園大規模改修の件
　第 2 号議案　令和 5 年度補正予算（案）
　第 3 号議案　給与規程改定の件

・第 4 回　令和 6 年 3 月 27 日(水)
　第 1 号議案　令和 6 年度事業計画（案）
　第 2 号議案　令和 6 年度予算（案）

5. 重点施策

（1）本来の保育の楽しさを満喫できる職場環境の追求

1）【新規企画】法人主催の研修会確立に向けた準備

次年度の本格運用開始に向け、今年度は試験的に外部講師を保育園に招きコミュニケーション研修会(導入編)、そして保育のデザイン研究所、園長、法人本部の３者で協議・企画し、主任・副主任研修会を実施した。

研修会後のアンケート及び、受講者からのヒヤリングより、学びの充実感に加え、姉妹園交流が身近に感じお互いの想いが共感でき有意義だったと多くの声があり手ごたえを感じた。また、土曜日に姉妹園の職員を保育園に集め、また外部講師を招き講義して頂くことで、今まで外部研修で職員が不在になるとシフトが厳しくなっていた課題が大部解消されるようになった。

一方で、横浜地区で先行して導入したｅ-ラーニングの運用については課題が残った。具体的には、就業中に保育から離れ学ぶための時間(ノンコタクトタイム)の確保、OJT 教材としての効果的な活用、登録者範囲の設定などが挙げられる。

今年度は、実践し見えてきた収穫と課題の両面を確認することが出来たので、次年度はこれら課題を優先順位高く改善を図る。改善後、次は秋田地区の保育園に水平展開を図る。

2）人事評価制度導入に向けた準備

法人が目指すビジョンを明確に言語化し、そして仕組みとして機能させ実現化するため人事評価制度の導入に向け準備を進めていた。今年度、ようやくその準備が整った。具体的には、法人理念や保育理念の改定、キャリパス、ジョブマトリックス、法人主催の研修会、ｅ-ラーニングの導入、新規形式による職員の処遇改善策など全てを総合的に取り纏めた仕組みである。

来年度は法人が各園を廻り、人事評価制度を導入する意義、役割について説明会を順次実施し、職員の質疑応答にも丁寧に回答し相互理解を深めながら推進する。

最終的な狙いは『法人の成長』と『職員の自己実現』の両立を実現化し、法人に関わる全ての人を幸せに導くことにある。また、地域貢献度が高い組織を目指す。

3）キャリアアップチャレンジ制度

ごしょの保育園の保育士１名が西柴保育園に異動し、この制度が運用開始する。

秋田地区、横浜地区で距離的な隔たりはあるが、姉妹園が存在する優位性を活かし、人員の流動化を促進し、『職員の自己実現』に向けた想いを全面的に支援していく。

人財育成の取り組みは、『法人の成長』に必要不可欠な重要施策の一つとして位置付けているので、今後はこの制度をより活用したくなるような仕組みの魅力化、そして最終的には活性化につなげていく。

（2）秋田地区の課題について

【新規事項】ICT 園支援システムのスムーズな導入と運用開始

秋田地区では県内でも導入実績の多い「おがーるシステム」を導入、事前準備から実運用開始まで 1 年間要した。まず職員の勤怠管理から試行し、最終的には園児の登降園管理、出欠、園からの連絡などの運用ができるまでになった。本年度は保育士の指導計画の作成など業務効率化に向けた活用方法を模索していく。

業務改善プロジェクトについてはごしょの保育園で昨年度末に職員アンケートを実施。本年度より理事長をリーダーとして、職員が主体となり、ごしょの保育園の業務・行事の見直し、環境整備などを行う。

【継続事項】園内データ管理の徹底と資質向上研修の実施

数年にわたり個人情報の取り扱い方について、データ保管場所の一元管理と運用方法について模索してきた。ごしょの保育園、かわしり保育園ではその方法に職員が慣れ、一部の個人情報を除き一元管理ができるようになった。秋田市の指導監査でもこの点は指導ポイントとして挙げられていたこともありスムーズに浸透したと考える。今後は横浜地区にも広めていく。

また、アンガーマネジメント研修も全園に実施したことで離職者の減少にも効果を発揮している。

（3）横浜地区における今後の運営方針

令和 4 年度から導入しているＩＣＴサービス「コドモン」のシステムによって効果的な運用を図るために担当者を集め会議や勉強会などを行った結果、業務軽減や事務作業の効率化を図ることができた。

また、障がい者雇用については障がい者雇用促進センターと連携し、支援機関及び対象者の見学、そこから対象者の実習まで行った。本年度は更なる動きとして、高等特別支援学校とも連携し、パイプづくりだけで終わらず確実な雇用を目指す。

財務強化についても最終的に定員割れの園がなくなり、各園の積立金の追加確保が加速化し、同時にかわしり保育園の大規模改修工事に向けた資金確保も行えた。

最後に、各園の予算管理を四半期レビューや分析を通して効果的な資金運用をおこない、引き続きかわしり保育園の大規模改修工事に向けた資金確保を全面的にバックアップしていく。

6. 職員内訳 （令和 6 年 3 月 31 日時点）

	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
法人本部	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	3 名	0 名	3 名
ごしょの保育園	1 名	35 名	2 名	4 名	1 名	3 名	2 名	48 名
かわしり保育園	1 名	16 名	1 名	2 名	1 名	1 名	1 名	23 名
阿久和保育園	1 名	16 名	5 名	2 名	2 名	2 名	1 名	29 名
西柴保育園	1 名	17 名	4 名	1 名	2 名	1 名	1 名	27 名
上永谷西保育園	1 名	24 名	2 名	3 名	0 名	1 名	1 名	32 名
阿久和キッズ	1 名	8 名	0 名	1 名	1 名	0 名	0 名	11 名
合計	6 名	116 名	14 名	13 名	7 名	11 名	6 名	173 名

7. 児童数の状況

	定員数	児童数(月平均)
ごしょの保育園	160 名	154 名／月
かわしり保育園	60 名	60 名／月
阿久和保育園	80 名	80 名／月
西柴保育園	60 名	67 名／月
上永谷西保育園	80 名	77 名／月
阿久和キッズ	19 名	19 名／月
法人合計	459 名	－

以上

令和６年６月５日

令和５年度
ごしょの保育園 事業報告

1. 事業内容
   ・保育事業　　・延長保育事業　　・一時預かり保育事業
   ・病児保育（体調不良児対応型）事業　・障害児保育事業

2. 保育園をめぐる状況
   ・令和５年５月８日に新型コロナウイルス感染症が５類に移行したことにより、地域の活動が活発となり、地域団体や高齢者施設、小・中・高校等との交流もコロナ禍以前の姿に戻りつつある。５類に移行したとはいえ、感染がなくなった訳ではないため、感染状況を見極めつつできる限り積極的に交流を進めてきた。地域に愛され、地域とともに子どもを育む園運営が戻りつつあるのを実感している。

   ・園内行事に関しても、運動会や発表会では来賓を招待するとともにご家族を人数制限なしにお招きをすることができた。特に発表会では、屋内施設での開催ということもあり、クラス発表ごとの入れ替え制にしてできる限りの感染防止に努めながら行ったが、ご家族からは「人数制限がないことで両親だけでなく祖父母にも見てもらうことができてよかった。」などと大変喜んでもらうことができた。これからも感染症対策をしつつ保護者や地域との交流・連携を進めていきたい。

   ・職員に関しては、出産に伴う休暇、休業取得者が６名おり、感染症への罹患者も続いたため、シフトを組むことも厳しい状況が続いたが、全職員の協力と協働の態勢により乗り切ることができた。チーム保育への意識の向上がよい効果をもたらしているものととらえている。今後もこのような状況が想定されることから、いざというときのための補完体制について常日頃から準備していくよう心掛けたい。

3. 重点施策
   (1)新しい生活様式に適応しながら、より充実した保育運営を推進する。
   　令和５年５月８日に新型コロナウィルス感染症が５類に移行されたことを境に、行動規制緩和の動きが活発になり、保育園の運営もアフターコロナを見据えた見直しを随時行ってきた。その際、ただコロナ禍前に戻すのではなく、コロナ禍での内容の精選・吟味、業務改善への取組等の意義や成果も踏まえて、職員と話し合いながら新しいスタイルの在り方を求めて工夫・改善を行ってきた。少しずつその成果が見られてきている。

(2)子どもの主体性を尊重した保育の充実を図る。

「子どもの主体性とは何か、どういうことか」を職員間で共通理解するところから始めた一年だった。園内研究チームが主体となって、指導計画が実際の保育活動に有機的に役立つものになっているのかどうか、そして、本園の「子どもの主体性を尊重した保育」が生かされているのかについて PDCA サイクルを活用しながら実践と検証を重ねてきた。その結果、着実に本園の保育者の保育力が向上してきている。

4. 施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額	備考（実施時期）
施設整備	園庭日よけネット設置	33,000 円	7 月
施設整備	床暖房設備整備	411,400 円	9 月
施設整備	温水ボイラー整備	154,000 円	12 月
施設整備	WI-FI 環境整備	184,140 円	2 月
備品購入	避難車	209,800 円	3 月

未実施項目	件名	金額	未実施の理由（背景）
備品購入	物置小屋（交換）	200,000 円	予算が厳しいため

5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

（1）乳児保育部門

0 歳児

・保育者の愛情のもと、一人ひとりの生理的欲求が満たされ、健全な生活を過ごせた。

1 歳児

・保育者に見守られながら、身近な人や物に興味をもち、関わりを広げることができた。

・身の周りの簡単なことに対して、自分でやろうとする気持ちをもつようになった。

・食物アレルギーをもつ子等がいるので、安全に生活できるように配慮することができた。

2 歳児

・保育者の見守りや励ましのもとで、自分でやろうとする気持ちをもって物事に取り組み、様々な経験を積む事で基本的な身の周りのことが身に付くようになってきた。

・様々な運動遊びに取り組む事で、基本的な運動能力を伸ばし、自ら体を動かすことを楽しんでできるようになってきた。

（2）幼児保育部門

3歳児

・遊びや生活の中で他者の存在に気づき、共に過ごすことの楽しさを感じたり、関係を深めたりすることができた。

・園生活の流れが分かり、身の回りのことを自ら行い、決まりを守って過ごせるようにした。

4歳児

・自分の健康に関心をもち、身の周りを清潔にすることの心地よさに気付くことができた。

・様々なことに興味、関心をもち、友達との関わりを楽しみながら、自分の思いを伝えたり相手の思いに気付いたりすることができた。

5歳児

・友達と相互に自分の考えを出し合ったり、心を通わせながら遊びを生み出したりしながら、目標に向かって力を発揮することができた。

・一人ひとりが主体性をもち、遊びや社会生活において必要な事柄や態度を身に付けた。

（3）給食部門

・安全で安心な給食の提供に努めた。

・衛生管理の徹底と衛生マニュアルを遵守した給食作業の継続に努めた。

・年間食育計画の改善を進め、年齢の育ちに合わせた活動を進めることができた。

・食物アレルギー対応をしっかり行い、食事提供の原則をして「組織的対応、完全除去、安全配慮」を実践し、「誤食と誤配膳の防止」を職員全体で徹底した。

・複数人いる栄養士の利点を生かした献立になるよう、季節の食材、郷土食、行事食等、工夫をこらして取り組むようにした。

・離乳食の進行に応じて保護者との連携を深め、0 歳児からの食事に関わり、安心感を与える支援を行えるようにした。

（4）子育て支援部門

保育所を利用している保護者に対する子育て支援

・保護者が子どもの成長に気付き、子育ての喜びを感じることができるよう、保護者のそれぞれの状況に配慮しつつ、良好な信頼関係を築きながら関わるよう努めた。

・感染症の状況を確認しながら、子育てに悩んだり、不安を感じたりする保護者を支援するため、子育てを楽しむ方法の紹介に努めた。（食育、看護、子どもとの関わり方、親子で楽しめる遊び、保護者のリフレッシュ方法等）

地域の保護者等に対する子育て支援

・未就園児を対象として地域のシルバー交流センターで行っている子育て支援活動では、コロナ禍でも実施できる範囲で、可能な限りの保育所保育の専門性を活かした子育て支援ができるよう努めた。（リズムあそび、ベビーマッサージ、親子で一緒に制作等）

（5）地域交流部門

近隣の中学校・高校との交流

・国、県、市の感染状況を確認しながら、行事等を通しての交流に積極的に応じ、職場体験やボランティア等の受け入れを行った。また、相互の特性を理解、把握した上での災害時の対応も含め、話し合いを行いながら、交流を図ってきた。

地域の福祉施設（シルバーエリア、ふれあいセンター、けやき会等）との交流

・国、県、市の感染症状況を確認しながら、さつまいもの苗植えや収穫、餅つき会、豆まき会など、可能な範囲で積極的に交流を行った。

（6）姉妹園交流部門（かわしり保育園）

・じゃがいもやさつまいもの苗植えや収穫、竿燈壮行会への参加等、行事を通しての交流を行うことができた。

・職員についても、給食会議を開催しての意見交換、給食職員の派遣、休日保育への職員派遣等の交流を進めることができた。

6. 定員数・全園児数の平均・職員数

(1)定員数

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員(人)	25	27	27	27	27	27	160

(2)全園児数の推移（実績の推移）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均数
全園児数(人)	139	141	147	149	152	154	156	158	158	161	164	163	154

(3)職員数(令和6年3月31日時点)　　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	22	0	4	0	1	1	29
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	1	1
非常勤職員	0	13	2	0	1	1	0	17
障がい者人財	0	0	0	0	0	1	0	1
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0
							合計	48

7. 実施行事

(1)　実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	3	新任職員の紹介式	新しく職員となった先生を紹介する式を行った。
	11	おおきくなったね おめでとうの会	新入園児や在園児が進級したことをお祝いした。
	20	じゃがいも苗植え	御山野楽校で5歳児の子どもたちが苗植えをした。
	28	こいのぼり集会	子どもたちの健やかな成長をみんなでお祝いした。

5	16	バスでおでかけ（３歳児）	３歳児が千秋公園を散策した。
	25	サツマイモの苗植え	シルバーエリアの畑で４，５歳児が実施した。
6	3	５歳児保育参観・ｸﾗｽ懇談会	保護者を迎えて保育参観後に懇談会を実施した。
	10	普通救命講習	職員を対象に消防署員による救命講習を実施した。
	13	不審者対応訓練	職員を対象に、警察署員による訓練を実施した。
	23	交通安全教室	秋田市交通指導員が５歳児を対象に実施した。
	28	バスでおでかけ（５歳児）	５歳児が岩城少年自然の家で体験学習を実施した
7	1,2	水泳教室	５歳児がアスレチッククラブで水泳指導を受けた。
	7	七夕集会	短冊を竹に飾り、日本文化の良さに触れた。
	7~8	お泊り保育	５歳児が、保育園に泊まって様々な体験を行った。
	12,13	夏祭りごっこ	園児と職員全員で手作りのお祭りを楽しんだ。
	20	じゃがいも掘り	御山野楽校で５歳児がじゃがいも掘りを行った。
	26	バスでおでかけ（３歳児）	セリオンの展望台に上って、市内の景色を眺めた。
	28	歯科健診	園歯科医による歯科健診を実施した。
8	18	バスでおでかけ（４歳児）	公園に行って遊具での遊びを楽しんだ。
	19	御所野地区夏まつり	５歳児が地域の方々に踊りを披露した。
9	16	運動会	１歳児以上参加で小学校のグラウンドで実施した。
	29	水泳教室	４歳児が県立プールで水遊びを楽しんだ。
10	4	リズムあそび発表会	中学校の体育館を借用して以上児が発表した。
	11	さつまいもほり（4 歳児・5 歳児）	シルバーエリアで、さつまいもほりを行った。
	12	遠足（１歳児）	近くの公園に出かけて、おやつを食べた。
	14	保育参観・懇談会（３歳児）	３歳児の保育を保護者に公開し、懇談会を行った。
	17	遠足（３歳児）	大森山動物園を見学した。
	18	遠足（４歳児）	県立博物館を見学し、講演でお弁当を食べた。
	21	保育参観・懇談会（４歳児）	４歳児の保育を保護者に公開し、懇談会を行った。
	25	内科健診	園医に、子どもたちの健康状態を診ていただいた。
	31	ハロウィンパーティー	子どもたちが季節の行事を楽しんだ。
11	9	交通安全教室	市交通指導員が来て、４、５歳児に指導した。
	11	２歳児お楽しみ発表会・懇談会	日々の生活の中で学んだ成果を保護者に披露した。
	17	遠足（５歳児）	フェライトこども科学館に行き、体験活動を行った。
	25	１歳児お楽しみ発表会・懇談会	子どもの発表を見たり、親子で活動したりした。
12	9	３歳以上児発表会	3 歳以上児が、クラスごとに学習の成果を発表した。
	22	クリスマス会	ホールで全員がクリスマスを楽しんだ。
1	10	新年を祝う会	新しい年を迎え、全員でお祝いをした。
	12	交流センター餅つき大会	４、５歳児が参加して、餅つきを楽しんだ。
	27	０歳児お楽しみ会・懇談会	親子一緒に様々な遊びを楽しんだ。
	29	御所野小体験入学	５歳児が、小学校に行って体験活動を行った。
2	1	交流センター豆まき会	地域の施設で高齢者と一緒に豆まきを楽しんだ。
	2	豆まき会	新聞紙のボールを使って豆まきを楽しんだ。
	6	御所野幼稚園雪まつり	幼稚園の招待を受け、雪まつりを一緒に楽しんだ。

	10	５歳児保育参観・懇談会	５歳児クラスの最後の保育参観・懇談会を行った。
3	1	ひな祭り会	ひな人形を飾り、子どもたちの成長をお祝いした。
	2	第三者苦情委員懇談会	第三者苦情委員の皆様から、ご意見をいただいた。
	9	卒園式	ごしょの保育園ホールにて卒園式を開催した。
	11	交通安全教室	5 歳児の子どもたちが交通安全について学んだ。
	15	ばらくみさんありがとうの会	卒園児に、在園児が感謝の気持ちを伝えた。

（２）令和６年度に向けた検討事項

○コロナ後の園行事及び園運営について、コロナ禍での内容の吟味や精選、業務改善の取り組み等の意義や成果を踏まえて検討すること。

○各種行事の内容について吟味し、子どもたちの主体的な参加を促すという観点から、その手立てや方策について検討すること。

○４，５歳児が一人担任となることにともない、行事面においても職員１人ひとりの負担が増えることが予想されることから、働き方改革に結びつくための具体的な方策や手立てについて検討すること。

8．研修報告

(1)　研修報告一覧（オンライン研修を含む）

月	日	研修名		研修内容
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	8		秋田市保育士会総会	総会及び講演会
	13	新規採用者研修		総会及び講演会
	18		秋田市施設長会	総会及び講演会
	26	園長等運営管理協議会		説明事項及び講演会
5	9		秋田市保育士会研究部会	連絡事項の伝達及び意見交換
	18		秋田市主任保育士部会	連絡事項の伝達及び意見交換
	24	教頭・主任等研修会		講話及び分科会協議
	26	新規採用者研修	秋田市給食担当者部会	連絡事項の伝達及び意見交換
	31		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
6	7	就学前教育理解推進研究協議会	秋田市保育士会研究部会	講話及び分科会協議
	12	5 年経験者研修		講話及び分科会協議
	16	新規採用者研修		講話及び分科会協議
	30			講話及び分科会協議
	26		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
7	5	保育実践習得研修		講話及び分科会協議
	20	新規採用者研修	秋田市保健部会	講話及び分科会協議
	27		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
	31	就学前教育合同研修会		講話及び分科会協議
8	3	幼保小連携研修会		講話及び分科会協議
	8	保護者支援・子育て支		講話及び分科会協議

8		援講座		
	9	障害児保育研修		講話及び分科会協議
	22	施設給食担当職員研修		講話及び分科会協議
	25	園長等運営管理協議会		講話及び分科会協議
	28		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
	29	マネジメント講座		講話及び分科会協議
9	1	新規採用者研修		講話及び分科会協議
	8		秋田市給食担当者部会	連絡事項の伝達及び意見交換
	15	5年経験者研修		講話及び分科会協議
	25		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
10	6	保育実践力研修		講話及び分科会協議
	11		秋田市保育士会研究部会	連絡事項の伝達及び意見交換
	13	園内研修リーダー養成講座		講話及び分科会協議
	24		秋田市保育士会主任部会	連絡事項の伝達及び意見交換
	30		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
11	2	教頭・主任等研修会		講話及び分科会協議
	8		秋田市保育士会研究部会	連絡事項の伝達及び意見交換
	10	新規採用者研修		講話及び分科会協議
	16	5年経験者研修		講話及び分科会協議
	29		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
12	5	新規採用者研修		講話及び分科会協議
	19		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
	27		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
1	10		秋田市保育士会研究部会	連絡事項の伝達及び意見交換
	23		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換
2	6		秋田市保育士会幹事会	連絡事項の伝達及び意見交換
	7		秋田市保育士会研究部会	連絡事項の伝達及び意見交換
3	11		秋田市施設長会	連絡事項の伝達及び意見交換

（2）令和6年度に向けた検討事項

○職員1人ひとりのキャリアアップ研修の積極的な受講と法人研修の適切な履修について検討すること。

○園内研究に資する研修への職員の参加を検討すること。

以上

令和６年６月５日

令和５年度
かわしり保育園 事業報告

1. 事業内容
・保育事業　・一時預かり事業　・延長保育事業
・障害児保育事業　・休日保育事業

2. 保育園をめぐる状況
・秋田市の保育施設等では、想定以上に新規入園児の減少が進んでいる。本園でも毎年年度末には、定員の 20%増しの上限である 70 人前後で数年前まで推移していたが、今年度の最終は 63 人と入園児の減少は顕著である。保護者から選ばれる保育園として特色ある園環境や園活動の充実など、園舎改修計画も含めてのかわしり保育園の魅力アップを図っていかなければならない。

・大規模改修計画については、法人・園・設計者等の連携のもと、耐震診断調査など必要な各種調査、事業の工程、仮園舎配置や改修園舎の保育室区割りや設備の大枠等を煮詰め、実現に向けて大きく前進した感がある。また、職員の声の集約も随時行った。職員の総意として、計画を推進してきた。資金計画にあたっては、法人全体のバックアップもいただきながら、当該園としても努力を続けてきた。

・法人理念、保育理念が変わったことにより、これまでの園内の掲示物も一新した。保護者にも、その旨の通知を出した。それと共に、かわしり保育園の子どもへの望む姿も明確にした。そして、保育園・家庭・地域で子どもを真ん中にすえてさらに連携・協力していくことを目指してきた。「全職員で全園児を育てていく」という合い言葉を継続し、一人一人の子どもに寄り添った充実した保育を図りたい。

3. 重点施策
(1)秋田市竿燈祭りへの参加
４年ぶりに、年長児と卒園児（小 1）合同で、秋田市竿燈祭り初日に参加できた。毘沙門町竿燈会からは、6 月から週 1 のペースで指導を受け、本番に備えた。職員も笛や太鼓、衣装係等、何らかの形で竿燈に関わりそれぞれの役割を担うことで、祭りへの盛り上がり、園としての一体感につながった。大勢の観客の前で、子どもたちが堂々と演技を披露した経験、集中して練習に取り組み上達した自信も、その後の園生活の原動力になったと感じる。

(2)保育環境の改善(ＩＣＴの有効活用)

秋田地区では、保育業務支援システム「おがーるシステム」が導入されている。今年度は全園児保護者のスマホ登録及び打刻管理と欠席・早退等の連絡を中心に活用した。玄関セキュリティ強化と合わせ、登降園の確実な打刻により園内に保護者と園児がいるかどうかの把握にも活用し、安全・防犯の維持につながっていると考えている。秋田地区２園が同一システムを使っていることから、情報交換を密にしながら同一歩調で活用の習熟と効果的な運用を今後も続けたい。

(3)働きがいのある職場作りと協働性の向上

１年を通して、勤務形態や職種にかかわらず、全職員で全園児に関わり育てていくという園風土が根付くように、会議や打ち合わせ等、機会あるごとに伝え、担任任せではなく、主体的に関わることを奨励し協働性の向上に努めた。また、年度途中で３人の離職者が出たことが非常に残念であった。それぞれが家庭の事情があり、感じ方や考え方が異なる中で、どうコミュニケーションをとっていくのか。あらためて考えさせられた。職員相互に小さな違和感をそのままにしないで、風通しの良い職場環境になるよう、配慮していきたい。

4. 施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額	備考（実施時期）
施設整備	園舎耐震診断	2,596,000 円	7 月　調査結果報告
施設整備	保育室不具合箇所の修繕等	289,752 円	4 月から 3 月まで修繕や点検実施(門扉修理、壁板・天井修理、電話機修理　等)

未実施項目	件名	金額	未実施の理由（背景）
備品購入	ホール用棚		様々な修繕費がかさんだことから今年度実施を見送りとした。

5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

(1)乳児保育部門

乳児　年度前半は、子どもの人数が少なかったので、ゆっくりと過ごせる環境を作りながらも他クラスとの関わりを増やし、安心して周りの人とかかわる経験が増やせるようにしてきた。途中で担任がかわることとなり、子どもたちも多少不安定になってしまったが、１０人と保育者で過ごすことに慣れていけるように、一人一人との丁寧なかかわりを心がけた。３月には、子どもたちも安心して過ごす姿を見せるようになったのでよかった。

1 歳児　言葉や運動面、身の回りのことに自分で取り組むなど成長が著しい子どもたちだが、同時に葛藤し、思い通りにいかないことも多かったと思う。そのことを理解し、一人ひとりの思いに寄り添い、認めながら安心して過ごせるよう心がけることができた。

2 歳児　個人差はあったが、一人一人にやり方を知らせながら行うことで、身の回りのこ

とができるようになった。それが自信となり、意欲的な姿が見られるようになった。言葉のやりとりが上手になり、自分の気持ちを伝えながら、友達と一緒にイメージを膨らませ遊んでいる。まだ、トラブルもあるため、繰り返し貸し借りの仕方を伝えている。

(2)幼児保育部門

3歳児　生活の流れを知り、自分の身のまわりのことをしようとする姿が全体的に見られた。保育者や友だちと様々な活動を楽しみながら、人との関わりもつなげられるようにした。また、困っていることや自分のしたいことを自分から言えるようになっている姿を見守っていく。

4歳児　行事や日々の活動を通して、のびのびと体を動かすことができた。身のまわりのことをはじめ、どんなことにもまずチャレンジするという気持ちがあるので、その時のその子に合った援助を続け、できることも増えてきている。聞く話すのメリハリはなかなかつけられないこともあるが、自分なりの思いや考えはそれぞれしっかりもっていて伝えることもできる。今後は相手の声にももっと耳を傾け、受けとめていって欲しい。

5歳児　個々の主張が強く、思いがぶつかったり、それぞれの思うままに行動することも多かったが、様々な行事を経験する中で、友だちと同じ目標に向かって集団で遊ぶ姿が多く見られるようになった。

就学が近づき様々な行事があったが、どれも楽しく、不安より期待につながったようだ。また、卒園製作を通して文字への関心も高まり、カルタやトランプなどのカードゲームも盛り上がっていた。

(3)給食部門

・行事食やリクエスト献立を実施し、楽しく食べることやバランス良く食べ進めることへつながっていくように工夫していきたいと思う。年間を通して食具や箸の使い方が上手になったと感じた。また、異年齢のクラスとみんなで食べる楽しさなども感じられた。

・コロナが５類になり、子どもたちにとって様々な食体験に触れることができた１年であった。季節の食材や壁面等を通して食への興味を次年度も促していきたい。

(4)地域交流部門

・コロナの５類移行や社会的な動きを見据えながら、園行事の活性化を図った。地域に繰り出しての買い物体験や地域施設の訪問など、できるだけ様々な人との交流の拡大を心がけた。子どもたちには、人と関わることの良さを体感できる場面を発達段階に応じて設定した。竿燈壮行会や祭り本番に向けての練習場面などの復活により、コロナ前の状況にだいぶ近づいてきた。

・ごしょの保育園とは、御山野学校やシルバーエリアでの活動場面はあったが、挨拶程度で、自己紹介や関わり合う場面を十分設定できなかった。山王幼稚園・保育園との交流も含め、連絡を取り合い、姉妹園の交流を深めたい。

(5)子育て支援部門

・園開放については、事前申込制で実施した。かわしり保育園の園開放日の周知を図るため、これまでよりも拡大して地域諸施設にポスター掲示の依頼をした。また、入所が決定している家庭には個々に通知を出して、積極的に園開放への参加を呼びかけた。友だちも誘っての園開放への参加など、参加者も多かった。また、園見学希望者については、できるだけ希望日時や見たい場面などに添うよう丁寧に対応し、入所への不安を軽減するように努めた。

・年 2 回の個人面談は計画通りに実施し、家庭や園での子どもの様子の情報交換ができた。送迎時での保護者との子どもの情報の共有など、距離感に配慮しながら家庭との連携を図った。クラス保育参観・懇談会については、各クラスの適切な時期を担任と協議した。保護者間の情報交換、子どもの育ちに対する見方・考え方や園の方針など周知する機会にもなり、有益であった。

6. 定員数・全園児数の平均・職員数

(1)定員数

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
定員（人）	１０	１０	１０	１０	１０	１０	６０

(2)全園児数の推移（実績の推移）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均数
全園児数(人)	58	58	58	58	60	60	60	62	61	61	63	63	60

(3)職員数(令和 6 年 3 月 31 日時点)　　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	10	0	2	0	1	0	14
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0
非常勤職員	0	6	0	0	1	0	1	8
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	1	0	0	0	0	1
							合計	23

7. 実施行事

(1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	6	新入・進級を祝う会	
	20	じゃがいも植え	年長児が御山野楽校に行って、じゃがいも植えや、周辺の散策を楽しむ
	27	端午の節句集会	
5	11	内科健診	
5	17	以上児クラス親子遠足	大森山動物園、ユースパルでのふれあい

	25	サツマイモ植え	年長児・年中児のサツマイモ植え体験
6	6	交通安全教室	以上児が交通ルールについて学習
	14	歯科検診	
	16	アスレでの水泳教室	年長児・年中児がプール遊び
	30	県立プールで水泳	年長児・年中児が県立プール体験
7	7	七夕集会	
	28	ジャガイモ掘り	年長児が御山野楽校でジャガイモ掘り
8	1	竿燈壮行会	本番前に、ごしょの保育園の年長児や来賓の方々に竿燈演技を披露し、激励を受ける。
	3	竿燈祭り本番	竿燈祭り初日、年長園児・卒園児(小 1)・職員で山王大通りにて、太鼓や竿燈演技を披露
	14~18	個人面談	
9	2	運動会	
	14	交通安全教室	以上児が交通ルールについて学習
	20	茶道教室	年長児の茶道体験
	21	アスレでの水泳教室	年長児・年中児がプール遊び
	29~30	年長児お泊まり会	
10	3～	自由保育参観週間	
	4	サッカー教室	年長児・年中児のサッカー体験
	11	サツマイモ掘り	シルバーエリアでサツマイモ収穫(年長・年中)
	12	内科健診	
	18	茶道教室	年長児の茶道体験
	27	アスレでの水泳教室	年長児・年中児水泳体験
11	8	サッカー教室	年長児・年中児のサッカー体験
	9	クッキング教室	スイートポテト作りに挑戦
12	2	お楽しみ発表会	
	11～	個人面談週間	
	20	茶道教室	年長児の茶道体験
	22	クリスマス会	
1	9	新年を祝う会	
	24	茶道教室	年長児の茶道体験
	25	園外活動	以上児のお買い物体験、神社訪問
	30	交通安全教室	以上児の交通ルールの学習会
2	1～10	保育参観・懇談会週間	1 日に 1 クラスずつ保護者懇談会を実施
	2	節分集会	豆まき
	2	川尻小体験入学会	年長児全員参加で川尻小 1 年生と交流
	15	茶道教室	年長児の茶道体験　おしるし授与

3	1	ひなまつり会	
	9	卒園式	来賓への案内は限定、卒園児家族の人数制限撤廃
	13	茶道教室	年長児・年中児の茶道体験
	21	園内お別れ会	ぞうくみ園児を送る会を開催
	22	年長児お別れ遠足	卒園を記念しての映画鑑賞策、お楽しみ会食
	28	クッキング教室	年長児がクッキー作りに挑戦

8．研修報告

(1) 研修報告一覧　※はオンライン研修

月	日	研修名		研修内容
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	18		秋田市保育協議会総会	事業報告・事業計画
	26		園長等運営管理協議会Ⅰ	※教育の現状とスタッフマネジメント
5	10		研究部会	
	18		主任保育士部会	
	24	教頭・主任等研修会Ⅰ		※講演とワークショップ(災害)
	17,24		園内研修	実技研修（救命救急等）
	25	秋田県保育士会研修会		※支援が必要な家庭への対応と里親について
	25		保健部会	
	25	食物アレルギー対応		食物アレルギー対応のための研修
	29		幹事会	
	31		施設長会	今年度予算、活動内容について
6	1~2		秋田県保育研究大会	※分科会での発表と分科会参加
	2		山王平成会園長会	事業説明、意見交換　他
	6,7		園内研修	情報共有の必要性を考える
	7		研究部会	
	7		就学前教育理解推進研究協議会	※育ちの連続性を保障する架け橋を創る
	9		給食部会	
	12	5 年経験者研修Ⅰ		自己到達目標評価表の活用について他
	13		幹事会	
	24		ミニ学習会	製作活動
	30		人事考課研修	人事評価、面談研修
7	1		栄養士 WEB セミナー	※睡眠の質を高める乳酸菌について
	4,5		園内研修	園外活動安全対策・事故発生時対応
	5	保育実践力習得研修		障害のある子どもの教育・保育
	27		主任保育士部会	お腹の中から始まる子育て

	26		秋田県保育士会研修会	※障害児保育について
	26,27		園内研修	感染予防について
	26		保健部会	
8	5		聖園短大キャリアアップ研修	※障害児保育講座
	23		園内研究	公開保育と話し合い
	25		園長等運営管理協議会Ⅱ	※不適切な保育を避けるために
	28		施設長会	大雨による被災、監査報告等
9	4,5	横浜研修		E ラーニング説明会、人事考課研修
	15		5 年経験者研修	子どもの主体的な活動を支える環境の構成
	19~22		園内研修	公開保育と話し合い
10	16~	食育・アレルギー対応		※食育、アレルギーについて
	24	主任保育士部会研修会		明日からみんながＨＡＰＰＹになる保育
	30	秋田県保育士会研修会		※子どもの食育と養育者のかかわり
	30		施設長会研修	防災（河川、洪水等）について
11	2	教頭主任等研修会Ⅱ		※幼児教育の質に関する認識の共有
	7	新任特別支援教育コーディネーター		保護者との関係づくり等
	7,8		園内研修	① 苦情・クレーム対応 ② 「虐待」「不適切保育」
	15		中央地区幼保小連絡協議会	情報交換等
	16		5 年経験者研修	※カウンセリングの技法を生かした乳幼児・保護者との関わり
12	2		園内アンガーマネジメント研修	怒りのコントロール
	4		秋水会と協議会との意見交換会	子育て支援や体制に関する意見交換会
1	10		研究部会	冊子作り
	16~17		人事考課研修	人事考課・面談研修
	16~17		園長会	事業計画、人事評価等
	29		園内研修	今後の園内研究の方向性
2	20		幹事会	
	22		保健部会	

(2) 令和６年度に向けた検討事項

・職員個々のキャリアアップ研修、および法人研修の計画的な進め方

・新テーマに基づく園内研究体制の円滑な推進と役割分担

・目標成果シートと研修・研究体制の結びつきの強化

以上

令和６年６月５日

令和５年度
阿久和保育園 事業報告

１．事業内容

・保育事業
・一時保育事業
・延長保育事業
・地域子育て支援事業

２．保育園をめぐる状況

令和６年度から０歳児クラスの定員を５名とし、全体で80名の定員に変更された。1歳児は定員15名のところ12名の受け入れに留めたが、他クラスで弾力受け入れをしたため、4月1日時点で、80名でスタートすることができた。年度途中で入園１名、引っ越しの為１名が転園するなど増減はあったが80名で年度の終わりを迎えた。

新年度を迎えるにあたり園長、主任が新しく就任し、新たに副主任のポジションが設けられ、新体制で全職員が協力し合って園運営の円滑化を目指して努力してきた。また、法人理念、保育理念が一新され改めて理念を職員の中に浸透しながらベクトルを合わせて保育業務を推進することを心掛けてきた。一人ひとりの子どもの育ちを理解して温かい保育を目指し、子どもたちが「大好きな保育園に、大好きな先生がいる」と思ってくれるようにと願って努めてきた。年度当初は、昨年度までの課題であった「職員間の対話や共通認識の不足」についてどの職員も改善を望んでいたが、打開策を見い出せずにいる状況だったため、コミュニケーションが充実するよう模索してきた。話し合いの時間を確保する困難さもありもどかしさがあったが、時間を捻出する努力をし、行事や係運営を通して、変わろうとする姿勢が徐々に職員間に広がってきたことが実感できるようになってきて、次年度には更に良い繋がりが出来ていくのではないかと感じる。

5月には新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、子どもたちとの生活や活動は徐々にコロナ前に行っていた形に戻せることは戻し、食事を一緒に食べたり、クラスを超えて一緒に遊んだりするなど活動の幅は広がりつつある。また、コロナ禍で工夫して新たな楽しみ方として定着してきたものもあるので、保護者の理解を得ながら、マイナス面ばかりに捕らわれず前向きに進んで行かれると良いと思う。保護者の中には保育園への立ち入りや行事への参加人数についてはコロナ前に戻して、制限を無くしてほしいと要望する方も一部いらっしゃり、職員間で対策を考えながら歩み寄るようにしてきたが、まだ課題は残る。

コドモンの利用についてはICTを得意とする職員の力を借りて大分機能を増やし、ま

ずは保育に関する書類、記録、配信、伝達などに慣れることを目指してきた。連絡帳、登降園の打刻などは保護者に丁寧に説明し、協力をいただいて順調に進んでいる。

地域子育て支援事業は、園庭、園舎開放は好評で、程よい人数が集まって地域の親子の拠り所となっているように感じる。赤ちゃん教室は参加者がまだ少数でもう少し来園者が増えるようにと、栄養士、看護師に専門性を活かした育児相談も行ってみた。今後は利用される方にも要望をお聞きしながら、今、子育て世代は何を求めているのかを探っていきたい。また、瀬谷区子育て応援ネットにも加入したことで、阿久和保育園の情報を発信していただいたり、近隣の保育園と協力して合同育児講座を開催することもできたのは良かった。

3．重点施策

（1）こどもを中心にした保育実践を考える対話的な職場風土つくり

・各クラスの中では話し合いを密にして子どもの共通理解のもと、保育計画を立て実践することができていた。一方で他クラスとの連携についてはなかなか難しい面も垣間見られた。建物の構造上1階と2階の間での連携は意識的にコミュニケーションを取ることが必要であり、各自で努力している様子も見られたので今後も引き続き広い視野で、思いやりの気持ちを持って気遣いができるようにしていきたい。

・子どもの育ちを一緒に喜こんだり、困り事を相談したりしながら解決の糸口が見つけるような語り合いを多くして、互いの保育観を知ったり共感し合いながら仲間意識を高められたら良いと思う。そうした語り合いの中から保育者としての使命を感じたり、対話を通じて職員同士の絆が深まるということを職員皆が感じれるよう働きかけていきたい。

（2）保育の見える化（共有化）と業務の効率化の促進

・コドモンの機能拡大は職員の努力によって順調に進み、保護者の理解を得て機能している。

・ICT は浸透しつつあるが、業務の効率化の促進にはもう少し時間を要するように感じる。また、ICT に関わるもの以外の業務についても、勤務時間を有効的に使えるような計画性が必要であり、限られた人数の中で協力体制は必須だと感じる。

（3）安全安心の保育

・新型コロナウイルス感染症がやや収束しつつある中でここ数年息を潜めていた様々な感染症が流行した。保護者の就業を支えつつ、子どもの健康を守るために、予防に有効な情報を提供したり、園内の感染症発生状況を配信したことで、家庭への感染症拡大の予防の協力を得ることもできたと感じる。

・近年、不適切保育について多くのニュースが報道されることを取り上げながら、様々な研修資料を基に自身の保育を振り返ることを働きかけてきた。他人事と思うことなく、自身の声掛けや関わり方が子ども側に立ってみた時に大事にされていると感じるか、また忙しさを理由に雑な保育になっていないか常に見直していきたい。

4．施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額（円）	備考（実施時期）
備品購入	デジタル身長体重計　一台	180,000	6 月に購入
備品購入	紙芝居・絵本　一式	133,000	6 月に購入
備品購入	室内遊具　一式	200,000	6 月に購入
施設整備	トイレ床乾式化工 （1 階、乳児、2 歳 3 歳、幼児）	1,533,000	8 月に工事完了

5．部門別保育年度達成状況（経過記録）

（1）乳児保育部門

・保育所保育指針に準じて作成した保育計画を基に保育を実施した。

・今年度からの取り組みとして親子でふれあって楽しめる会を、土曜日を使って 2 回開催した。まだじわじわと発生する様々な感染症を懸念してクラスごと入れ替制で行ったので、ゆったりと年齢に合わせた内容で会を行うことができた。また、園全体の職員が計画、準備から関り、当日もサポートすることで職員皆が親子の様子をリアルタイムで感じることができ学びになった。

・個別支援を必要だと感じる園児が数名おり、保護者への伝え方、相談や療育へのつなぎ方には苦慮した。2 歳児クラスでは加配申請に至らず、加配保育士の配置はできないが個別に保育するしかなかったため、担任には大きな負担となり、クラス保育も思うようにできなかったことは今後の対応に活かし、早めの働きかけをしていきたい。

（2）幼児保育部門

・保育所保育指針に準じて作成した保育計画を基に保育を実施した。

・クラス保育を充実させながら異年齢保育も取り入れどのクラスも友だちになる雰囲気を大事にした。夏祭りや運動会では異年齢で関わって制作をしたり、運動会の道具作りや競技にも活かせたことは良かった。

・乳児と同じく個別支援を必要とする園児が各クラスにおり、保護者との共通理解が進まず、行政や専門機関とも連携がスムーズにいかない例が多かった。また、家庭支援の面で区が関わっている家庭が何件かあり、要保護児童対策協議連絡会にてケース会議に参加する例も数件あるなど、支援は多岐にわたった。

・5 歳児クラスでは心の安定を図れない園児もおり、友だちとの関わりが深まるクラス作りをすることに苦心した。友だちの思いに気付けない、受け入れられない、関りが一方的など年長ならではの活動ができるようになるまでには時間を要した。

年度の後半には友だちへの関心も深まり、話し合いができたり、協力して遊ぶことができるようになりクラスとしてまとまるなど成長する姿が見られたのはとても感動的だった。就学への気持ちも高まって、小学校へ送り出すことができた。

（3）給食部門

・安全で安心な給食提供を年間通して実施できた。
・季節を感じる献立や、地方の郷土料理、行事に合わせたメニュー等工夫を凝らした献立作成ができた。
・アレルギー除去食は周りの友だちとあまり変わらないよう工夫され間違いなく確実に提供できた。
・クッキングは保育士と連携して子どもたちが喜んで楽しく作ることができ良い体験となった。

（4）地域子育て支援

地域子育て支援は、年間を通し定期的に園庭開放、園舎開放、赤ちゃん教室を行うことができた。8月や3月には幼稚園が休みになることから幼稚園児も多く参加してくれた。また保育園の行事も体験していただくように、じゃがいも堀り、夏祭り、ハロウィン、防災教室、クリスマス会、など多くの行事に参加を呼びかけた。遊びの提供も充実しており、制作、体操、読み聞かせなど親子で楽しんでいただいた。

6．定員数・全園児数の平均・職員数

⑴定員数

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員（人）	5	15	15	15	15	15	80

⑵全園児数の推移（実績の推移）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均数
全園児数(人)	80	81	81	81	81	80	80	80	80	80	80	80	80.3

⑶職員数(令和6年3月31日時点)　　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
正職員	1	14	0	1	1	1	0	18
嘱託職員	0	0	0	0	1	0	0	1
パート職員	0	2	3	1	0	1	1	8
シルバー人材	0	0	2	0	0	0	0	2
							合計	29

7.実施行事

⑴ 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	3	入園・進級の日	
	12	0歳児クラス懇談会	
	24	1歳児クラス懇談会	
	25	2歳児クラス懇談会	
	28	こどもの日集会	

5	10	3歳児クラス懇談会	
	11	4歳児クラス懇談会	
	12	5歳児クラス懇談会	
	19	お弁当遠足	
6	1	歯科検診	
	7	内科検診	
	8	合同防災訓練	瀬谷区消防署による「キッズ防災教室」を行った。(職員向け、園児向けに避難について指導及び、火災を想定しての煙体験)
	14	じゃがいも堀	
	24	親子ふれあいの会（乳児クラス）	
7	3	プール開き	
	7	七夕集会	
8	29,30	夏祭り	
	31	プールじまい	
10	7	運動会（幼児クラス）	
	27	さつま芋堀り	
	31	ハロウィン	
11	1	内科検診	
	2	歯科検診	
	8	お弁当遠足	
	18	親子お楽しみ会（乳児クラス）	
12	16	発表会（幼児クラス）	
	22	お楽しみ会	
1	10	こども新年会	
	31	3R夢	横浜資源循環局の協力をいただき、ゴミの分別について学ぶ
2	1	5歳児クラス懇談会	
	2	豆まき集会	
	2	4歳児クラス懇談会	
	5	3歳児クラス懇談会	
	6	2歳児クラス懇談会	
	7	1歳児クラス懇談会	
	8	0歳児クラス懇談会	
3	1	ひなまつり集会	
	8	お別れ会	
	9	卒園式	
	15	お別れ遠足（幼児クラス）	
	19	お別れバス遠足（5歳児）	

(2) 令和6年度に向けた検討事項

・保護者参加の行事については、保護者の参加人数の制限を無くしてほしいという要望もあるため、検討をしていく。

・土曜開催の行事は土曜保育を受け入れる中での実施となるので、行事、保育、職員の勤務体制について検討しながら計画を進めていく必要がある。

8. 研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	研修名		研修内容
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	10		園内研修	
5	24		e ラーニング説明会	
	27		アンガーマネジメント研修	法人研修
6	16		コドモン講習会	
	22		幼保小研修会	幼保小の連携
	28		教育・保育施設長ステージアップ研修（オンデマンド）	施設長の役割（全社協）
	30		人事考課研修	法人研修
7	4		横浜女子短大園長講座	施設長の資質向上
	12		瀬谷区コーチング研修①	コーチングコミュニケーション
	19		教育・保育施設長ステージアップ研修ワーク型学習	施設長の役割（全社協）
	20		瀬谷区臨床心理士研修①	保護者対応
	28		横浜市こどもまんなか社会研修	社会の変化の中でこどもの成長に焦点をあてる
8	7		食物アレルギー講習会	食物アレルギーの理解
	23		横浜女子短大園長講座	施設長の資質向上
	25	障害児保育		
	28	幼児保育		
	30		横浜保育教育宣言研修	横浜市策定「乳幼児の心持ちを大切に」
	31		横浜女子短大園長講座（zoom）	施設長の資質向上
	31	乳児保育		
9	4		看護職等研修	子どもの病気と救急医療
	5		人事考課研修	法人研修
	7	保護者支援・子育て支援		
	12	食育・アレルギー		
	14		横浜女子短大園長講座（zoom）	施設長の資質向上
	14		瀬谷区コーチング研修②	コーチングコミュニケーション
	20		横浜女子短大園長講座 A	施設長の資質向上
10	14	保護者支援・子育て支援		
	16		医師会保育園医部会研修	嘱託医との情報交換会
	18		横浜市園長会研修	施設長の資質向上
	26		瀬谷区施設長研修会	施設の情報交換
	31		衛生講習会	給食の衛生管理
11	13		接続期研修（zoom）	幼保小の連携
	24		瀬谷区臨床心理士研修②	保護者対応

11	25		コミュニケーション研修	法人研修
	28		保育協会・社協合同研修会	
12	6	障害児保育		
	15	保健衛生・安全対策		
	22	障害児保育		
	27		園内研修（クラス保育）	
1	16		人事評価研修	法人研修
	29		瀬谷区臨床心理士研修③	保護者対応
2	21	幼児保育		
3	13		園内研修　救命救急講習会	
	25		給食研修会	窒息・誤嚥予防
	27		主任・副主任研修	法人研修

(2) 令和 6 年度に向けた検討事項

e ラーニングを活用し園内研修を行う。

瀬谷区の公開保育に参加し他園の保育も学ぶ。

不適切保育について園内研修をする。

環境を含め遊びについて園内研修をする。

以上

令和６年６月５日

令和５年度
西柴保育園 事業報告

1. 事業内容
・保育事業　　・一時保育事業
・延長保育事業　　・地域子育て支援事業

2. 保育園をめぐる状況
・園児の定員についてはここ数年、定員以上の園児数を確保出来、横浜市の弾力化に協力出来ている。
これについては、園の特色の一つでもある木育などの活動を職員が、ドキュメンテーションという形で日々の保育を保護者にわかりやすく見える化し配信し、こども達や保護者に寄り添い、個々の発達を配慮しながらの保育実践への保護者理解がすすみ、選んで頂く際のストロングポイントの一つになったと考えている。
・e ラーニングによる個々の職員の学ぶ姿勢の継続が着実に保育力となっている、アタッチメントを重視して、こども達に関わることの重要性が日常の保育環境として定着しつつあり、保育をとりまく状況がより専門性を必要とし、保育者の役割や学びが重要視される中、今後も画像を交えた e ラーニングを利用しての施設職員の共有の学びに必要性を大いに感じこれを利用しての学びの機会に重きを置いて職員の自己研鑽、学びの共有を継続していく。
・年度途中での退職があり体制が大変厳しい環境の中でも、施設職員が協力し合い、学びを継続し保育の質を落とすことなく乗り越えてくれた。保護者からの利用者アンケートでも、概ね満足しているとの結果がでており、保育内容や、職員に対するクレームもほぼない。
・求められている保育、実践の環境、学びの体制や継続について、改めて見つめなおすことの出来る 1 年でもあり、その結果、保育を語り合える保育環境としての職員配置が職員のモチベーションや保育の質を上げる事につながるかを実感した。
今年度の教訓を振り返り次年度に活かしていく。

3. 重点施策
(1)木育活動
木育活動の一環として、OISCA さんのお力を借りて在園児、乳児、幼児と保護者を対象に「つみきひろば」を開催した。「つみき」を介しての親子参加型のワークショップは大変好評であった。
そのほか、職員の秋田「鳥海山おもちゃ美術館主催研修」、山梨木育研修に参加した。
今後も日常の木や自然物と保育を結び付けての木育展開を実施していく。

(2)施設内職員のキャリアプランに基づいた保育力の育成

今年度は年度途中に退職者が出たために当初予定していた学びの計画は十分には実施する事が出来なかった、しかしながら、個々には、目標を持ち学び続けチーム保育に生かす風土づくりを心がけ、大切にしていきたい保育の理解、愛着関係の形成、主体的な取り組み、個々の興味関心に目を向け、こども達や同僚の人格を尊重し、保育を語り合共に成長していく。

(3)次の世代に選ばれる保育園づくり

施設全体の職員が専門職としての使命を理解し、保育を職員同士が語り合い、楽しんで実践し、保護者とともにこども達の成長や学びを共有している。

4. 施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額	備考（実施時期）
施設整備	エントランスの冷房整備	622,500 円	
備品購入	0 歳児室ﾊﾟｰﾃｰｼｮﾝ	157,190 円	OISCA
備品購入	乳児室木製玩具	226,400 円	OISCA
備品購入	幼児室木製玩具	199,400 円	OISCA
備品購入	ひっつきむしと東京の森・丸太	99､440 円	APTY

5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

(1)乳児保育部門

引き続き 0 歳児、1 歳児のアタッチメントを大切にした泣き声が聞こえない保育への工夫の継続。

乳児こころの安定を重視し、十分な心地良いかかわりをもち受容され甘える経験を重ねる保育を心がけ継続。

(2)幼児保育部門

保育者の寄り添いをかてに、ひとり一人の違いを力に保育者に見守られ、共感してもらいながら日々の様々な場面、異年齢活動の造形や表現、木育活動、リトミック、体を動かす活動、散歩等の日常の活動を通じ一人一人の夢中になれる事、好きな事をみつけ、1 人でも楽しみ、仲間とのかかわりも楽しめる活動を十分に体験している。

6. 定員数・全園児数の平均・職員数

(1)定員数

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
定員（人）	5	11	11	11	11	11	60

(2)全園児数の推移（実績の推移）

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均数
全園児数(人)	65	65	66	65	68	68	69	69	68	69	69	69	67

(3)職員数(令和6年3月31日時点)　　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	11	0	1	1	1	0	15
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0
非常勤職員	0	6	3	0	1	0	1	11
障がい者人財	0	0	0	0	0	0	0	0
シルバー人財	0	0	1	0	0	0	0	1
							合計	27

7. 実施行事

(1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	3	入園式・進級式	入園、進級を祝う
	10	避難訓練	火災・地震想定避難訓練
	25	誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
5		各クラス懇談会	9日5歳児、10日4歳児11日3歳児､12日2歳児 15日1歳児16日0歳児
	24	春の健康診断	園医による定期健康診断
	30	誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
	17	避難訓練	火災・地震想定避難訓練
6	7	交通安全教室	クロネコヤマト交通安全訓練
	6	歯科検診	園医による歯科検診
	13	親子ふれあい遊び（ひよこ）	保護者2名とクラスの児とのふれあい遊びの会
	14	親子ふれあい遊び（りす）	保護者2名とクラスの児とのふれあい遊びの会
	15	親子ふれあい遊び（ぱんだ）	保護者2名とクラスの児とのふれあい遊びの会
	18	避難訓練	土砂災害想定避難訓練
	27	誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
7	7	七夕の会	七夕まつり
	20	すいかわり	園内でスイカ割りを実施
	14	避難訓練	火災・地震想定避難訓練
	25	誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
	29	地域の盆踊り	町内会のおまつり内での盆踊りタイムに幼児クラスが保護者とともに参加
8	24	おまつりごっこ	園内で幼児クラスによるおまつりごっこ
	29	誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
	16	避難訓練	火災・地震想定避難訓練
9	5	歯科検診	
	27	おだんごづくり	十五夜お供え用のおだんごづくり
	29	十五夜の会	十五夜をこども達の作ったおだんごとともに楽しむ
		誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
	1	避難訓練	火災・地震想定避難訓練
10	7	運動会	幼児クラスによる運動会
	24	内科健診	定期健診2回目

	31	避難訓練	火災・地震想定避難訓練
		誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
11	14	やきいも会	町内会の方々とともにやきいもを実施
	28	誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
	25	避難訓練	火災・地震想定避難訓練
12	2	おたのしみ会	幼児クラスによる発表会
	4	避難訓練消防立ち合い	避難訓練消防立ち合い
	14	茶道教室	年長クラスのみの茶道教室
	19	誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
	22	クリスマス会	サンタクロースが来園してのクリスマス会
	20		木育ひろば乳児・幼児
	30	避難訓練	火災・地震想定避難訓練
	30	誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
2	2	節分の会	豆まきの会
	8	5 歳児懇談会	すみれ組懇談会
	14	作品展	園児の作品展保護者見学あり
	16	避難訓練	火災・地震想定避難訓練
	17	入園説明会	令和 6 年度入園内定者説明会
	19	4 歳児懇談会	4 歳児懇談会
	20	3 歳児懇談会	3 歳児懇談会
	21	2 歳児懇談会	2 歳児懇談会
	22	1 歳児懇談会	1 歳児懇談会
	26	0 歳児懇談会	0 歳児懇談会
	28	誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
3	7	5 歳児卒園遠足	年長児クラスのみバスにて遠足
	12	誕生会	誕生児の保護者と共に誕生を祝う
	17	卒園式	年長児の卒園式
	19	お弁当遠足	近隣の公園等へクラス毎の遠足
	21	避難訓練	火災・地震想定避難訓練
	21	茶道教室	

(2)　令和 6 年度に向けた検討事項

保育園の役割、保育者の職務が大変重要視される中で、新たな志ある職員が、入職、異動により、加わる事となった。

今一度西柴の目指す保育、国の必要としている保育を再確認し職員同士が保育を語り合いともに学び合える環境を整える。

年度途中の離職者が発生などを回避出来るよう、職員を多方面から支え、プロの保育者を育てていく仕組みを引き続き試みていく。

8．研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	研修名		研修内容
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	10			消防士による AED 訓練
	11			救命訓練園内研修
	22		新入職者研修	私立園園長会主催
5	27		ｱﾝｶﾞｰﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修	法人本部主催
6	13			幼保小連携研修

	8		子どもの人権に配慮した保育研修	保育室内での子どもの人権について
	12		乳児保育研修	乳児保育研修
	30		人事考課研修	
7	5		乳児保育研修	乳児保育研修
	6,13	乳児保育研修		乳児保育研修キャリアアップ 1,2 回目
	21		インクルシーシブ保育	インクルシーシブな保育実践について
	3			保護者対応基礎編
	26		新人研修	横浜女子短大主催
8	3		子どもの人権研修	金沢区研修
	24		保育内容「言葉」研修	こどもを育む言葉研修
	25		ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修	新人の育て方
	30		リトミック研修	リトミック実践研修
9	1	乳児保育		乳児保育 3 回目キャリアアップ研修
	22		保護者支援・子育て支援	
	20		感染症指導者養成講座	感染症の予防と対策に関する講義と嘔吐物処理演習
	13		主任養成研修	主任養成研修
10	3,4		施設長研修	全保協施設長研修前期
	3,20	乳児保育		乳児保育キャリアアップ研修
			食品衛生責任者実務者研修	Zoom にて 10 月中に受講
11	22		人的環境としての保育者	人的環境としての保育者
	11		コミニュケーション研修	法人本部
	28		ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修	
12	6	障害児研修		キャリアアップ研修
1	30		ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修	
	12	安全・衛生管理		
2	2			木育と保育　講師川合亜希子さん
	5		ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修	ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修
	6		施設長研修	全保協施設長研修後期
	6		ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ研修	
	8		保護者支援子育て支援	横浜女子短大
	9	安全・衛生管理		

(2) 令和 6 年度に向けた検討事項

・異動者を含め 6 名の新しいメンバーが新たに迎えるにあたり、更に意欲ある保育者が組織内に加わって保育の質が一層向上し丁寧な保育や、職員同士が保育を語り合えるノンコンタクトタイムの実践に向けて時間を有効に活用する意識を個々が持てる様な仕組みづくりには、どうすればよいか？

・職員が定着し、あたたかく、丁寧な日々の保育実践が継続し、継承され離職者が出ない施設であるためにはどのような努力が出来るか？

・木育への自然な形での取り組みの充実

以上

令和６年６月５日

令和５年度
上永谷西保育園 事業報告

1. 事業内容

保育事業、一時預かり事業、延長保育事業、地域子育て事業

2. 保育園をめぐる状況

主任、副主任を新たに配置し、新たに2名の職員が加わり新年度のスタートとなる。子どもの園児数に対して子どもの最善の利益を追求できる職員の十分な配置を考慮し、１歳児の定員を前年度の15名より3名減らし12名の受け入れとする。信頼関係を築き上げると共に、保護者と情報を共有しながら、家庭と連携し保育することを心掛けた。季節性の感染症が流行し、コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症による体調不良や感染拡大が相次ぎましたが、長期化することなく収束した。安全な場所として子ども達が安心して過ごせるよう努めた。

地域交流として年長児は近隣の日限山小学校と運動遊びをテーマに１年間交流させていただいた。小学校へ訪問させていただく機会も多く就学への見通しがつき、不安も軽減されることから次年度も継続して交流していただけるよう引き続きお願いすることとなった。また、救急救命や応急処置について消防署や警察に依頼し、不審者訓練を職員研修として実施した。課題や改善点などアドバイスとして頂いた内容を次年度の計画に反映させていく。

環境面では、園庭の危険箇所の補修や、砂場の遮光ネット設置により安心して戸外遊びを提供できるようになり、また園庭に大型遊具を購入した事で子ども達の遊びも広がったように感じる。次年度も保護者の一つ一つのご意見や様々な出来事をしっかりと受け止め、今後の運営改善になるよう努める。

3. 重点施策

(1)子どもの最善の利益を考慮した保育

・子ども一人一人の気持ちを受け止め、丁寧な保育を提供することを心掛けた。子ども主体の保育を提供できる専門性を高め、心を育てるため、職員自らの人間性や社会性、専門性の向上に努めた。

長時間にわたり園で過ごす子ども達が「自分は愛されている」「大切にされている」といった安心できる環境作りと関わりを意識し保育に務めた。次年度も引き続き、法人理念や保育理念に基づき子ども達の情緒が安定し、自己肯定感が高まる関りをしていく。

(2)人財育成

・研修はキャリアアップ研修を優先的に進め、各自 e ラーニングやスキルアップ研修を受ける事となる。それぞれの役割を自覚し、保育への前向きな姿勢をしっかり持ち、職員の質の向上に務めた。受講した内容は研修報告として会議等で発表またはコドモン内で閲覧できる環境とした。

・全体での保育を語る時間や場所の確保が難しい事から会議を利用することとなったが次年度は会議の内容、設定を見直し、人材育成、保育への共通認識の確認の場として有効に行いたい。

(3)地域交流、子育て支援の取り組み

・一時保育を含め子育て支援への参加者の利用の伸び悩みを感じる、昨年度より問い合わせや利用は少しずつ増えているが定着しない所が引き続き課題である。次年度は姉妹園より内容や開催方法などアドバイスをいただき育児支援に力を入れていきたい。

4. 施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額（単位：円）	備考（実施時期）
施設整備	園庭整備	3,058,000	5 月
備品購入	プール	415,000	6 月
備品購入	固定遊具	150,000	12 月
備品購入	カメラ	103,000	12 月
施設整備	園庭補修工事	200,000	3 月

5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

1）乳児部門

0 歳児：家庭的な保育を実施し、保護者と連携しながら日々の保育や子どもの様子を伝えることで成長を共に喜び合い丁寧な保育が行えた。

1 歳児：職員同士連携を取りながら一人一人の生活リズムで、食べたり、排泄したり、眠ったりし、園生活に慣れ保育士がそばにいることに安心し、自分の好きな遊びや玩具を見つけて遊んだり、園内や戸外で保育士と一緒に探索活動を楽しむことができた。

2 歳児：保育者に見守られながら、自分のしたい遊びを楽しみ、また、保育士の援助を受けながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとし基本的生活習慣が心地よい感覚として身につき行う姿が見られた。

（2）幼児保育部門

3 歳児：保育士や周りにいる大人たちとの信頼関係の下、生活に必要な基本的生活習慣や態度を身につけ安心して過ごすことができた。四季を通し、目的を持って散歩に出かけ、自然に触れ、草花や小動物に関心を持ったり、言葉で伝えあったりするなど自然を通して主体的に友達と楽しむことができている。

4 歳児：保育士や周りにいる大人たちと築いた信頼関係を基盤として自分で生活の場を整え、その必要性を理解し、基本的生活習慣の自立を促す。四季を通して、目的を持って散歩に出かけ、自然に触れ、草花や小動物に関心を持ったり、言葉で伝えあったりするなど集団遊びへの展開も見られた。

5 歳児：保育士や周りにいる大人たちと築いた信頼関係を基盤として自分で生活の場を整え、その必要性を理解し、基本的生活習慣の自立を促す。四季を通して目的を持って散歩に出かけ、自然に触れ、草花や小動物に関心を持ったり、言葉で伝えあったり、ルールのある集団遊び等を提案しあい楽しむ。トラブルなどは意見を出し合い子どもたちで解決することもできた。

（3）給食部門

・離乳食の取り組みを丁寧に行い、保護者と連携し個々に合った対応を行う。
・給食衛生管理マニュアルに基づいた対応
・栄養士間の連携の下、給食提供時間の厳守、献立内容の工夫の実施
・アレルギー対応の実施
・食育活動を計画、実施し、園児との交流を深める

6. 定員数・全園児数の平均・職員数

⑴定員数

クラス	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
定員（人）	3	15	15	15	16	16	80

⑵全園児数の推移（実績の推移）

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均数
全園児数(人)	76	76	76	76	76	76	76	78	78	80	80	81	77

⑶職員数(令和 6 年 3 月 31 日時点)　　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	14	0	3	0	1	1	20
嘱託職員	0	1	0	0	0	0	0	1
非常勤職員	0	9	2	0	0	0	0	11
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0
							合計	32

7. 実施行事

月	日	名称	内容
4	3	入園・進級の日	
	25	懇談会（５歳）	
	26	懇談会（４歳）	
	27	懇談会（３歳）	
5	16	バス散歩（５歳）	
	17	バス散歩（３・４歳）	
	23	懇談会（２歳）	
	24	懇談会（１歳）	
	31	園児健康診断	
6	14	クッキング（５歳）	園で収穫したジャガイモでいも餅を作る
	21	園児歯科検診	
	26	水遊び・プール開き	
7	7	七夕	
	25	クッキング（５歳）	ゼリーバイキング
8	2	スイカ割り	
	30	おみこし	
	31	夏祭り	
10	18	園児健康診断	
	21	運動会（２～５歳）	
	25	バス遠足（５歳）	
	31	ハロウィン	
11	1	バス遠足（３歳）	
	2	バス遠足（４歳）	
	8	歯科検診	
	9	資源循環局　出前講座	ごみの分別に関する教室
	10	保育参観・参加（１歳）	１歳児の親子で一緒に運動遊びを楽しむ
	17	保育参観・参加（０歳）	０歳児の親子で一緒に運動遊びを楽しむ
	21	合同防災訓練	
12	1	クッキング（５歳）	収穫したサツマイモで餃子の皮スイートポテト
	16	生活発表会（３～５歳）	
	25	クリスマス会	
1	10	お正月遊び	
	19	懇談会（５歳）	
	26	保育参加（２歳）	２才児の親子が一緒に運動遊びを楽しむ
	30	ヤマト運輸　交通安全教室	ヤマト運輸による交通指導
2	2	節分	
	5	懇談会（４歳）	
	6	懇談会（３歳）	
	7	懇談会（２歳）	

2	14	懇談会（１歳）	
	16	防犯安全教室	不審者から身を守る対策の指導
	18	園長と食事会	年長児がグループ毎に園長と食事会を楽しむ
	27	バスドライブ（１・２歳）	
	28	バス遠足（３歳）	
3	1	ひな祭り	
	6	お別れ遠足（５歳）	
	8	バス遠足（４歳）	
	13	お別れ会	
	16	卒園式	

(1) 令和６年度に向けた検討事項

行事に関しては現状の内容を次年度も検討していく。保護者の参加人数の調整はコロナ５類移行後より少しずつ増やし、より多くの方が参加できるようにしている。夏の遊び（水遊び、プール）が近年の温暖化に伴い実施困難になりつつある。実施方法や時間など検討しているが毎年課題である。

8. 研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	研修名		研修内容
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	4		新人保育士研修	
	5		新人保育士基本マナー研修	
	6		子どもの最善の利益を考えた保育	
5	7		新人保育士研修	
	10		危機管理研修	
	26		ｅラーニング研修	
	27		アンガーマネージメント研修	
6	15		AED・CPR 研修	
	27		支援の必要なお子さんの対応について	地域の児童支援教室コペルプラス見学
	29		嘔吐処理研修	
	30		人事考課研修	
7	6		痙攣・救急対応研修	
	31		リスクマネジメント研修	
8	1		給食栄養管理研修	
	10		防火管理講習管理者研修	
	23		保育者のセルフマネジメント研修	
9	5		人事考課研修	
10	4		インクルージョン保育研修	
	23		コミュニケーション研修	

	27		アレルギー対応研修	
11	10		障害児保育研修	
	14		栽培・食育研修	
	15	障害児保育		
	17		療育研修	
	21	保健衛生・安全管理		
	29	幼児保育		
	30		保育施設のリスクマネジメント	
12	6	保護者支援・子育て支援	幼保小推進事業研修	
	12		危機管理研修	
	26	マネジメント	人事評価研修	
	20	幼児教育		
	23	食育・アレルギー対応		
1	12	保健衛生・安全管理		
	15	障害児保育		
	16		人事評価研修	
	18		子どもの人権に配慮した保育研修	
	25		幼保小の架け橋プログラム研修	
2	1		リスクマネジメント研修	
	3	食育・アレルギー対応		
	5		安全対策	警察の方より安全対策について学ぶ
	7	保護者支援・子育て支援		
	19		幼保小推進事業研修	
	19	乳児保育		
	21	幼児保育		

(2) 令和６年度に向けた検討事項

ｅラーニングの取り組みなどの時間の確保が難しく、進捗状況は個人差がかなり出ている。会議の内容などを検討し、研修として学びの時間を設定しつつ、子どもの事を語る時間として主任、副主任と共に進めていく。また、知識として習得すべき内容は積極的に取り入れていく。

以上

令和６年６月５日

令和５年度
阿久和キッズ 事業報告

1. 事業内容
・小規模保育事業
・延長保育事業

2. 保育園をめぐる状況
・防犯対策強化として、玄関ドアを電子錠に交換し、より安全を確保できるようにした。
今年度は、リーダー保育士を作らずに、保育士一人ひとりが自覚を持って保育に取り組んでいただき、保育士間の連携は十分とれていたという意見が多かった。その反面、提案はたくさん出たがまとめきれずに保育にいかすところまではできなかった部分もあるという意見もあったので、次年度の課題となる。

3. 重点施策
(1)保育を語り合える関係
・それぞれのクラスでノンコンタクトタイムを活用して、保育について話したり、研究する機会が持てた。
・キャリアアップ研修やzoomを活用しての研修にも積極的に参加し、保育の質についてより深く勉強する機会となった。
・保育士、栄養士と担当ごとにジョブマトリックスを作成するにあたり、話し合いを重ね、より深く研修することができた。

(2)保育環境の整備
・子ども一人ひとりの思いに寄り添い、丁寧に関わるように努めた。
・2歳児はバスに乗ってこども自然公園に散歩に行くことができ、小動物と触れ合う　などの体験も行うことができた。
・季節や遊びのタイミングで玩具や絵本を取り替えたり、子どもの興味を示す様子に応じて環境を設定することができるようにしていきたい。

(3)ICTによる業務の効率化
・ICT係を中心に、コドモンで保護者の方々へのお知らせ、ドキュメンテーションでの保育の様子、請求管理など効率的に行うことができた。栄養士の方でもコドモンを積極的に活用することができていた。

(4)姉妹園・連携園・地域の方々との交流

・今年度は姉妹園の阿久和保育園の行事（夏まつり、おいもほり、ハロウィーン）などに参加した。

次年度は、できる範囲で計画や準備の段階から参加できるとよいと思う。

4. 施設整備及び備品等購入

実施項目	件名	金額（単位：円）	備考（実施時期）
施設整備	電子錠設置	130,000	4月

5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

乳児保育部門

(1)0 歳児

・4名でスタートする。1月より1名入園し、5名となる。月齢に大きな差があったので、一人ひとりの子どもと丁寧に関わり、発達段階に応じた対応を心掛け、信頼関係を築けるようにした。離乳食も保護者、栄養士、担任と話し合い急がずに進めた。

(2)1 歳児

・進級児4名、新入園児4名の8名でスタートする。

温かく、楽しい雰囲気で、保育士に見守られながら自分の思いを表現できるよう保育を進めていった。少しずつ周りの友だちに関心を寄せたり、身の周りのことに興味を示し「じぶんで」と行ってみようとするようになる。それと同時にトラブルも増え、噛みつきなど未然に防ぐことが今後の課題となる。

(3)2 歳児

・進級児7名でスタートしたが、１２月に両親の母国に帰省のため退園し6名となる。基本的な生活習慣については、個人差が大きく、一人ひとりのペースで無理のないように進めていった。給食では、野菜が苦手な児が多くなかなか進まなかったが、自分たちで育てた野菜をきっかけに徐々に食べられるようになった。

(4)給食部門

・安全で安心な給食の提供に努めた。また、行事食なども積極的に取り入れた。
・宗教上の理由での代替食への対応を行った。栄養士を中心に保護者、担任、園長と毎月１回、給食面談を実施した。
・２歳児は食育活動を開始した。野菜を洗ったり、野菜の苗を植えて、育て給食で提供し自分たちで育てた野菜を味わってみる、ゼリーやクッキーを作ってみるなど。
・１１月よりコドモンにて献立や栄養管理を行うようになる。
・姉妹園の栄養士と栄養士会議を行い、情報交換を行った。

6．定員数・全園児数の平均・職員数

⑴定員数

クラス	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員（人）	6	7	6	―	―	―	19

⑵全園児数の推移（実績の推移）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均数
全園児数(人)	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19

⑶職員数(令和6年3月31日時点)　　(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	5	0	0	0	0	0	6
嘱託職員	0	1	0	0	0	0	0	1
非常勤職員	0	2	0	1	1	0	0	4
シルバー人財	0	0	0	0	0	0	0	0
							合計	11

7．実施行事

⑴ 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	3	入園、進級の日	
	20	誕生会	
	26	避難訓練	
5	2	こどもの日の会	
	18	誕生会	
	23~25	クラス懇談会	
	30	避難訓練	
6	7	内科検診	
	9	歯科健診	
	15	じゃがいもほり	
	15	避難訓練	
	22	誕生会	
7	7	七夕集会	
	8	灯篭まつり	長屋門で灯篭を飾っていただく
	13	避難訓練	
	20	誕生会	
	27	すいかわり	
8	24	誕生会	
	29	避難訓練	

	31	夏まつり	阿久和保育園に誘っていただきお店やさんに参加
9	13	避難訓練、引き取り訓練	
	21	誕生会	
	29	十五夜お団子作り	
10	12	不審者対応訓練	
	19	避難訓練	
	24	さつまいもほり	
	26	誕生会	
	31	ハロウィーン	
11	1	内科検診	
	10	歯科健診	
	10	避難訓練	
	18	親子で遊ぼう会	
	22	誕生会	
12	6	こども自然公園（２歳児）	
	12	避難訓練	
	14	誕生会	
	25	クリスマス会	
1	5	こども新年会	
	18	避難訓練	
	25	誕生会	
	30	不審者対応訓練	
2	2	節分	
	6~8	クラス懇談会	
	15	クロネコ教室	
	17	入園説明会	
	20	避難訓練	
	21	誕生会	
3	1	ひなまつりの会	
	7	お別れ遠足	
	25	避難訓練	
	15	卒園式	
	28	お別れ会	

(2) 令和６年度に向けた検討事項

・行事の見直しをしていく。

・姉妹園や地域の方々、連携園（三ツ境幼稚園、原幼稚園）との交流を深めていく。

８．研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	研修名		研修内容
		処遇改善Ⅱ対象の研修	左記以外の研修名	
4	5		園内研修	
5	7		園内研修	
	23,24		救命救急、防災対策研修	
	27		アンガーマネジメント研修	
6	16		園内研修	
	30		人事考課研修	
7	5		園内研修	
8	9		食物アレルギー講習会	
	23		施設長研修	
9	5		人事研修	
	6		園内研修	
	14		園長会研修	
	20	乳児保育研修		
10	3, 4		全保協研修	
	11		衛生管理講習会	
	25		園内研修	
	27	障害児保育		
11	10		園内研修	
	11,25		コミュニケーション研修	
	28	子育て支援研修		
12	1		自己評価ガイドライン研修	
	22		保育の自己評価	
	23		リスクマネジメント入門	
	20		嘔吐処理研修	
1	17		よこはま保育教育宣言	
	18		子どもの人権に配慮した保育研修	
	20		木育研修	
	29		臨床心理士研修	
2	14		乳児食調理実習研修	
	13～3		食育研修会	
	22		食品衛生責任者実務講習会	
3	12		救急対応研修	

(2) 令和６年度に向けた検討事項

・e ラーニングの活用と時間の確保

・キャリアアップ研修への参加

以上